



方も多い
そうです。
でも、本当
に口から
食べられ
ない方が
そんなに
多いとは思えません。いろいろな専門職や家族、そして本人も含めて一つの目標に向かって努力をすればチユーブが必要なくなる人も増えるはずです。好きなカレーを食べながらそんなことを思う今日この頃です。

歯がしみる！

外来に来院される方の中に「歯がしみる」ということを訴える方がいます。これは心配ですよ。むし歯かもしれないし。そこで「しみる」原因を考えてみましょう。
原因は大きく3つあります。1つはむし歯の初期症状。これはなんと

なく想像がつくかもしれませんが。この程度の症状であれば深く削ることもないのでご安心ください。

もう1つは歯周病。歯がしみる感じがしていても、実際は歯ぐきの神経が敏感になってきているケースがあります。時々、歯の神経の処置がしてあり（いわゆる神経を抜いた状態）、歯自身が痛みやしみを感じることでできない状態なのに「しみます」と訴えられることがあります。このような時は応急的に歯の周りを薬でコーティングし、しっかり磨いていたことで改善します。

そしてもう1つが噛み合わせです。噛み合わせにアンバランスが生じ、どこかの歯に大きな力が生じてしまふとしてみえます。

先日、次のような訴えがありました。「右下の虫歯が痛くて噛めなかったので左側ばかり使って噛んでいたところ、今度は左上がしみるようになった」とのことでした。皆さんもお分かりですよ。このような時は

全体の噛み合わせのバランスを考えながら調整していきます。ただし、効果が出るのは1週間〜10日後くらいからですから焦らないでくださいね（言い訳半分！）。

このように「しみる」という症状にはいくつかの原因があります。この段階で何らかの対応やチェックをすることで大きく削ったり抜いたりということが避けられます。自分の歯を長く持たせるためにも「しみる」時はチェックしてみましょう。

休診のお知らせ

五月十五日（土）午後部、15時〜17時はセミナー参加のため休診させていただきます。午前部は通常通り診療しております。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。